

# 財団だより

〈第 83 号〉

特別号

一般財団法人全国強制抑留者協会  
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-2  
九段第二勸業ビル2階  
TEL 03-3261-6565 FAX 03-3261-6548

## シベリア抑留関係者の皆様へ

### ◆中央慰霊祭開催のお知らせ◆

旧ソ連・モンゴル等に抑留され、死亡された  
方々の中央慰霊祭を左記の通り開催します。

#### ◆日時

令和六年十月十六日（水）  
午後一時より（約一時間の予定）

#### ◆会場

都市センターホテル  
（三階コスモスホール）  
東京都千代田区平河町二一四一一  
TEL〇三―三二六五―八二一一  
（代表）

#### 主催

一般財団法人全国強制抑留者協会

#### 後援

総務省

#### ◆申込方法

参加ご希望の方は、郵便番号・住所・  
氏名・電話番号をご記入の上、往復  
はがきで九月二十日（金）迄にお申  
し込み下さい。

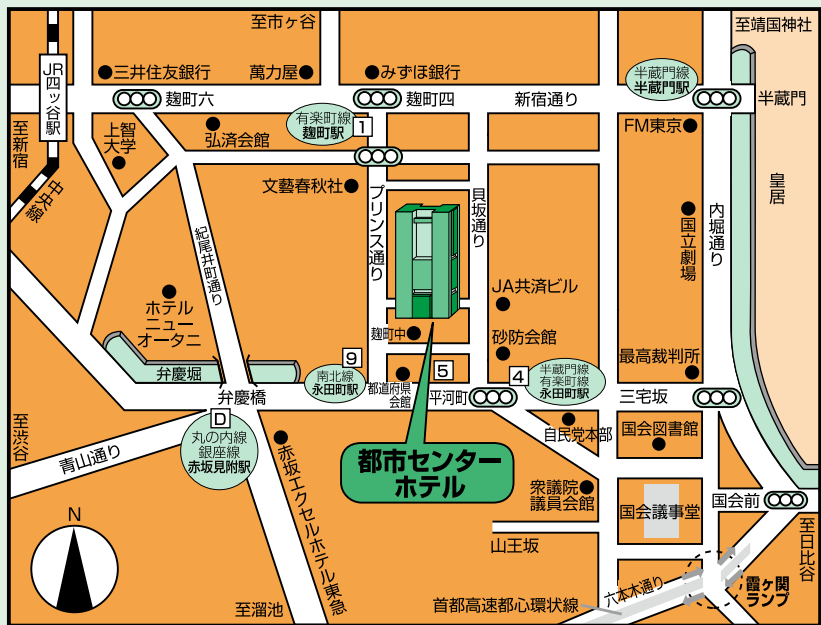
#### ◆宛先

〒一〇二一〇〇七三  
東京都千代田区九段北一―八二二  
九段第二勸業ビル二階  
一般財団法人全国強制抑留者協会  
TEL 〇三―三二六―一六五六五

## 都市センターホテルまでの地図

### 電車の場合

- 東京メトロ 有楽町線  
「麹町駅」半蔵門方面1番出口より  
徒歩4分
- 東京メトロ 有楽町線・半蔵門線  
「永田町駅」4番・5番出口より  
徒歩4分
- 東京メトロ 南北線  
「永田町駅」9番出口より徒歩3分
- 東京メトロ 丸の内線・銀座線  
「赤坂見附駅」D出口より徒歩8分
- JR中央線  
「四谷駅」麹町出口より徒歩14分



## 私のシベリア抑留

### 平和への願い



賀口 康子  
佐坂 康子

私は昭和十二年旧満州撫順市で、四男三女の次女として生まれました。父は

製紙会社を営んでいましたが、昭和二十年五月四十一歳で招集され、その二ヵ月後幼い子供六人を残し母が亡くなりました。十五歳の姉が母代わりに子供達だけの厳しい生活の中、二人の弟が相次いで亡くなりました。その頃火葬場は、死体の山で受け付けてもらえず、兄と三人で薪を拾い河原で茶毘に臥さなければならなかった恐ろしく悲しい体験をしました。

昭和二十一年六月、姉兄の四人で苦難の引き揚げが始まりました。引き揚げの途、道端で、無蓋列車あるいは船中で死んでゆく多くの日本人を見てきました。昭和二十一年七月舞鶴港に着き、初めて日本の土を踏みしめました。その後、日本で姉兄四人と一緒に暮らすことはありませんでしたが、元気で今日まで暮らせていることを感謝しております。

平成三年、ソビエト元大統領ゴルバチョフ氏が来日の際、持参されたシベリア抑留中死亡者名簿の中に、懐かしい父の名前を見つけました。平成四年九月、姉と私は厚生省シベリア募参団に参加することが出来ハバロフスクに着きました。この大地の何処かに父が眠っている「お父さん、もうすぐ行きますよ」と心の中で叫びました。

シベリア鉄道に乗りビロビジャンに行く途中、

厚生省の方から「あなた方には大変申し訳ないがお父さんが眠っておられるビラにはいけません」と言われ、私と姉はその言葉に愕然としました。

父が眠る場所に行けることだけを願って来たのに何故；父に、母と二人の弟の死、河原で茶毘に臥した事、姉兄の四人で頑張つて引き揚げてきたこと、引き揚げ途中の貨車の中で偶然伯父さんに出逢ったこと、その後の生活など報告しなくてはと思つて此処まで来たのにビラまでいけないなんて；

あくる日、バスで山の中を進んでいた時、思いがけなく通訳の方が「此処がビラです」と言つてバスを止めました。なんとビラに着いたので、父が眠る墓標の前にひざまづき、東の間の時間でしたがいろいろな事を話しかけることが出来、夢のような私達の墓参でした。バスは、奥へ奥へと進み大きな森の側に止まり、その森全体が墓地と分かりました。想像以上に厳しい状況の中で、国の為、命を懸けて力の限り勇敢に戦つた男たちの無念の叫びが漂うこの森、望郷の念はいかばかりであったか飢餓の状態で虫けらのように、ゴミのように扱われ奪われた命。私は、森に佇み命の尊さをしみじみ感じました。生かされていることの素晴らしさ、生きる喜び、その全てを根こそぎ奪い去つてしまう恐ろしい凶器それが戦争だと思ひます。私が今一番伝えたいことは、多くの人たちの犠牲のもとに今日の平和な日本があることを国民として感謝の気持ちを携へて欲しいこと。戦争、シベリア抑留を後世に伝える歴史を今一度考へて欲しいことです。私は、八十六才になった昨年、「今伝えたい、平和への願い「蟻のなみだ」」を出版しました。平和の尊さが皆様の心に少しでも届くことが出来ればこれに勝る喜びはありません。

## 令和六年度 実施事業(十月～十二月)

### 戦後強制抑留者慰霊祭(中央・地方)

- 岩手県支部 九月八日(変更)
- 岩手県盛岡市上田公民館
- 佐賀県慰霊祭実行委員会 九月十四日
- 佐賀県佐賀市・佐賀県遺族会平和会館
- 中央慰霊祭 十月十六日
- 東京都千代田区都市センターホテル
- 福岡県支部 十月二十日
- 福岡県福岡市・護国神社内「参集殿」
- 静岡県支部 十一月八日
- 静岡県富士市中島公園慰霊碑前
- 鳥取県支部 十二月八日
- 鳥取県湯梨浜町慰霊碑前

### 「シベリア抑留体験」手記の募集

戦後七十九年が経過しシベリア抑留体験者は、徐々に少なくなりシベリア抑留の記憶は薄れつつあります。このため財団日より編集委員会では、シベリア抑留の記憶を次世代に伝え平和への思いをつなぐ取り組みとして、シベリア抑留体験者の手記(祖父母や両親から聞いた話等も可)を募集しています。

集まった手記は「私のシベリア抑留」と題して財団日より掲載させて頂きます。

#### 応募方法

住所・名前・連絡先電話番号を記入の上、手記(様式は問いません。二〇〇字以内)や写真等を添付して下記の応募先へ郵便、e-mail等によりお送りください。

#### 応募先

〒101-0073  
東京都千代田区九段北一八―二 九段第一勸業ビル二階  
一般財団法人全国強制抑留者協会  
TEL 03-3361-1655  
e-mail: yoshida@zaidan-zenyokukyo.or.jp

### ご寄附のお願い

日頃より一般財団法人全国強制抑留者協会の活動に対しまして多大なご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本会では、慰籍事業ならびに慰霊事業等の諸事業を実施していますが、これらの事業を継続し、さらに充実させていくためには皆様のご理解と支えが必要です。引き続き皆様からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

#### 寄附の方法

●銀行振込でのご送金  
三菱UFJ銀行  
市ヶ谷支店  
普通預金口座  
1055487

#### ●現金でのご送金

〒102-0073  
東京都千代田区九段北1-8-2  
九段第二勸業ビル2階  
一般財団法人全国強制抑留者協会